

(法第28条第1項関係様式例)

平成23年度事業報告書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人魅来づくりわかやま

1 事業の成果

「すさみ町元気な田舎暮らし創造事業」の最終年度は、組織もNPO法人化し、摂南大学より理事4名を迎え、摂大とのパイプができ、イベントの全てにおいて協力が得られ、事業はほぼ完遂することができた。

また、平成23年10月末から、新たな公共支援事業として「産学公協働によるプラットフォーム型過疎地域活性化事業」の採択も決まり、大学のシンクタンク活用により、「過疎の再生」を目指したく、また、このたびのNPO法改正による、寄付集め等、事業継続に向け取り組む。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
1. 田舎暮らしワンストップサービス事業	1) 農水省：都市と農山漁村地域間交流事業（海と里の大学）に協力し、田舎暮らし体験メニューを紹介	5/21	寝屋川市		市民 200人	
		6/19	大阪		市民 300人	
		8/27	関空		近畿 500人	
		10/1~2	和歌山		市民 200人	
		11/3~5	寝屋川市		市民 300人	
		11/20	寝屋川市		市民 300人	
2. マリンスポーツ事業	2) 観光産業と同様に、各地出店時に田舎暮らしPR事業を行う	2/1~3	東京	3人	都民 500人	17,052 (全事業 総額)
		2/9	名古屋		市民 150人	
		3/14~19	すさみ町		学生 50人	
		5/3	すさみ町		近畿 300人	
		7/1~3	すさみ町		近畿 450名	
		7/23	すさみ町		近畿 150人	
7/24	すさみ町	県内 450名				
11/6	すさみ町	近畿 80人				
11/26	すさみ町	県内 20人				

3. 観光産業振興事業	出店PR事業（アドバンス）	5/21	寝屋川市	市民	200人
	先進地視察（自然共学センター）	6/22	福井市	町民	7人
	海の感謝祭	7/23	すさみ町	近畿	150人
	民泊体験（児童生徒）	7/27	すさみ町	県内	30人
	民泊体験（児童生徒）	8/20	すさみ町	県内	40人
	マリン体験（摂大生）	9/6～8	すさみ町	学生	30人
	出店PR事業（刑務所）	10/1～2	和歌山	市民	200人
	出店PR事業（寝屋川市）	11/3～5	寝屋川市	市民	300人
	出店PR事業（寝屋川市農業まつり）	11/20	寝屋川市	市民	300人
	交流事業（摂大生と地元）	12/2	すさみ町	学生	40人
	出店PR事業（トレードショー）	2/1～3	東京	都民	500人
	交流事業（名古屋県人会）	2/9	名古屋	市民	150人
	4. 特産品のブランド化と販売促進	アンテナショップ出店	5/21	寝屋川市	市民
アドバンス出店		5/27～29	寝屋川市	市民	900人
加工品づくり（イカ天日干し）		8/1	すさみ町		
加工品づくり（イノブタ串焼き）		8/23	すさみ町		
出店PR事業（関空）		8/27～28	関空	近畿	500人
加工品づくり（イノブタ出し汁）		9/13	すさみ町		
加工品づくり（イノブタバーガー）		9/25	すさみ町		
出店PR事業（刑務所）		10/1～2	和歌山市	市民	300人
出店PR事業（寝屋川市）		11/3～5	寝屋川市	市民	900人
出店PR（寝屋川農業まつり）		11/20	寝屋川市	市民	500人
出店PR（奈良県河合町）		12/24	河合町	町民	590人
出店PR（東京トレードショー）		2/1～3	東京	都民	1000人
交流会PR（名古屋県人会）		2/9	名古屋	市民	150人
カツオシンポジウム（ブランド化）		2/18	串本町	近畿	120人
マスコミPR（FM生放送）		3/5	湯浅町	紀北	
出店PR（田辺市）		3/11	田辺市	市民	300人
カツオまつり		3/20	すさみ町	近畿	2500人
5. その他第3条の目的を達成するために必要	広報活動（南紀熊野サテライト授業）	4/16	すさみ町	近畿	20人
	広報活動（寝屋川商団連研修）	6/7	すさみ町	市民	20人
	広報活動（摂大経済学部講演）	6/29	寝屋川市	学生	120人
	大学訪問（摂南大学）	9/28	寝屋川市	教授	15名
	先進地訪問（奈良県河合町）	10/7	河合町	幹部	10名

な事業	地元産品掘起こし	10/14	すさみ町	町民	7人
	広報活動(和大観光・経済学部講演)	10/24	和歌山市	学生	70人
	交流事業(河合町幹部職員)	11/12	河合町	幹部	40人
	交流事業(地元佐本地区と摂大生)	12/2	すさみ町	学生	40人
	協力要請(摂南大学)	12/13~14	寝屋川市	教授	10人
	協力要請(摂大防災教育)	12/26	すさみ町	学生	10人
	協力要請(摂大林業活性化)	2/11	すさみ町	教授	5人
	広報活動(地元若者向け講演)	2/24	すさみ町	若者	15人
	交流事業(河合町来町)	2/28	すさみ町	町民	5人
広報活動(宝塚市西谷区長会講演)	3/17	宝塚市	町民	60人	

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 (1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 5 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。